

熊本に向けた DPAT への出動式を行いました

4月16日に発生した「熊本地震」を受け、宮城県では被災地に向け4月18日からDPAT（災害派遣精神医療チーム）の派遣を開始しています。

これまで第三班まで派遣されており、明日（5月3日）からは第四班が派遣されます。当センターでも宮城県の要請に対応し、このチームのコアメンバーとして3名の職員を派遣することとしました。

本日（5月3日）、派遣する福地地域支援部長、渡部企画部長、樋口企画課長3名の出動式を行いました。

冒頭、白澤宮城県精神保健福祉協会副会長より激励の言葉があり、職員からは各自の抱負が述べられました。

派遣期間は5月3日～9日までの7日間で、児童精神科医師や精神保健福祉士など専門性の高い経験豊富なスタッフとして現地において活動することとなります。

